

☒は各課のEメールアドレスです。表示したアドレスの後に「@city.yamato.lg.jp」を続けてください。

厚木基地に関する動向

次期固定翼哨戒機(XP-1)

昨年10月11日、防衛省から市へ、海上自衛隊厚木航空基地への次期固定翼哨戒機の乗り入れについての通知がありました。その内容は、海上自衛隊が現在使用している固定翼哨戒機P-3Cの後継機となる、*XP-1の装備品などの性能評価を実施するため、同機を厚木基地に乗り入れることを計画しているというものです。

これを受け、大和市議会では11月1日、基地対策特別委員会を臨時に開催。同通知の内容が協議されました。

市は、同委員会では出された意見を踏まえつつ、県と綾瀬市と共に性能評価の目的や内容、厚木基地を選定した理由、航空機の安全性、性能評価の実施体制や運用および騒音など、多岐にわたって防衛省に照会し、11月30日に回答を得ました。市はこの回答を受け、現在も必要な確認作業を続けています。

一方、厚木基地の諸問題の解決に向けて取り組みを進めている大和市基地対策協議会(会長・大木哲大和市長)は、11月19日に航空自衛隊岐阜基地を訪問。開発メーカーにより社内飛行試験が行われているXP-

1の概要の説明を受け、実際に飛行する同機を視察しました。

その後、12月に開催された大和市議会では、「XP-1の厚木基地への装備品等の性能評価のための乗り入れについては、騒音や安全に十分配慮するよう強く要望する」との決議が採択されています。

市は、XP-1の性能評価のための乗り入れに対し、市民や市議会などの意向を踏まえながら、市民の負担増加につながらないように引き続き慎重に対応していきます。

*次期固定翼哨戒機の名称は、昨年9月28日に初飛行した際につけられた「XP-1」を使用しています。



次期固定翼哨戒機(XP-1) [岐阜基地]



増田防衛事務次官に要望書を手渡す大木会長と基地対策協議会の代表者【防衛省】

基地対策協議会による要請活動

大和市基地対策協議会は今年2月19日、防衛省、外務省、在日米国大使館を訪問し、「厚木基地の早期返還と基地問題の抜本的改善に関する要望書」を提出しました。

今回の要望書には、「空母艦載機移駐の早期実現」や、「昨年5月に厚木基地でF/A-18など騒音の激しい機種によって実施されたNLPについて、厚木基地ではなく硫黄島で全面的に実施すること」、「基地周辺住民に配慮した施策を充実させること」

などを盛り込んでいます。またこれに加え、次期固定翼哨戒機の乗り入れについては、周辺住民の負担の増加につながらないように、十分な配慮を求めています。

大木会長から要望書を受け取った防衛省の増田好平防衛事務次官は、「空母艦載機の移駐については、ロードマップに示された実施時期に沿って着実に実施するように努めていきたい。次期固定翼哨戒機の性能評価のため、騒音の軽減や運航の安全に配慮するよう努力していきたい」などと述べました。また、在日米国大使館のレイモンド・F・グリーン安全保障政策課長は「米政府としてもロードマップに示された空母艦載機移駐の重要性は認識しており、一日も早く移駐したいと思っています」と話しました。

大和市基地対策協議会では、厚木基地にかかわる諸問題の解決に向け、今後も取り組みを進めていきます。

問い合わせは、市役所基地対策課
基地対策担当 ☎(260)5310、✉kichi。